

# 伊達市チーム応援便り vol.4

いよいよ最終決戦！！ 伊達市チームよ最後の力をふりしぼれ

**第**3回福島県市町村対抗軟式野球大会の伊達市チームは17日3回戦 双葉町に3対0 18日準々決勝 会津美里町戦に1対0と連勝し、初のベスト4進出を果たし、来年のシード権を手に入れました。

## 【試合経過】

### ○17日 3回戦 双葉町戦 3対0

先発は佐藤正投手。この試合までは2番二塁手として、巧打好走塁でチームを牽引してきましたが、初先発で5回を3安打無失点に抑えました。先制したのは3回、9番佐藤一選手が死球で出塁し、ボーク、内野ゴロ、四球で2死1、3塁となり、ここで4番斎藤厚選手が懸命の走塁で内野安打。次は、5回、死球と四球で出たランナーを3番旗野の犠牲フライで帰し、5番芳賀裕もタイムリーで2点を追加。最後は、エース佐藤佑投手が2回を無安打3三振に抑えて快勝しました。

この試合は、徹底的に走りまくり、終わってみれば11盗塁。また、投手に入った佐藤正選手に代わり2塁に入った西尾選手が初スタメン。打ってはバント安打、エンドラン、盗塁と技を披露し、守っては好守備を見せてくれました。

### ○17日 準々決勝 会津美里町戦 1対0

今大会最も苦しい試合となりました。先発は1回戦で好リリーフを見せた芳賀和投手、初回から丁寧なピッチングでランナーは出すものの点を与えず、見方の援護を待ちます。試合が動いたのは4回、前の試合で投手として好投した佐藤正選手がヒットで出塁。3番旗野選手のエンドランの間にすきを狙い3塁を狙うと、あわてた一塁手が三塁に暴投。その間に虎の子の1点を奪いました。

芳賀和投手は5回際どいコースを狙うあまり、2つの死球を出しピンチを招くと、またもやエース佐藤佑投手が登板。連投の疲れからか自らも四球を出し、この大会初めての満塁のピンチ。1ストライク3ボールの絶体絶命のピンチをレフトフライに押さえ、さらに6回にも四球、エラー、内野安打で満塁になったが、ここでもライトフライでピンチを切り抜けた。最終回は、2死2塁で迎えた4番バッターに鋭い当たりをされ、誰もが同点と思った瞬間ショート佐久間選手が大ファインプレーを見せゲームセット。

苦しんだ末に、昨年惜しくも敗れた準々決勝を突破し、最終日に駒を進めることになりました。

準決勝は10月24日(土)午前9時45分からあづま球場で「福島市」と対戦し、勝てば午前11時30分から浪江町と須賀川市の勝者と決勝戦に臨みます。

## 選手紹介

### 内野手:西尾 文善選手

今年から代表入りをし、ここまで二塁手と3試合に出場。体は小さいけれど、走攻守でさえた技をみせています。3回戦の双葉町戦では、初スタメン出場を果たすと、バントヒット、エンドラン、四球とすべての打席で持ち味を発揮、走っては3盗塁、守備では一塁手が後逸した打球をすばやく処理しアウトにしたり、ライトの手前に落ちそうな打球を背面キャッチしたりするなど広い守備範囲で投手を助けました。

## 第3回福島県市町村対抗軟式野球大会最終日

第1試合 8:00 浪江町 対 須賀川市  
第2試合 9:45 伊達市 対 福島市  
第3試合 11:30 決勝戦

まずは、今年初めて選抜チームで臨む福島市と対戦。甲子園でも活躍した選手がいるが、今までのように守り抜いて少ないチャンスをものにする野球ができれば勝機が見出せる。

決勝は、昨年の覇者浪江町と須賀川市の勝者と対戦。ここまできれば、気力と勝利への執念が鍵となる。

初優勝まであと2つ。最後まで全力で戦い抜きます。

### 伊達市チームメンバー表

背番号	位置	氏名	年齢	出身	背番号	位置	氏名	年齢	出身
30	監督	東城 一弘	51	保原	12	内野手	菅野 拓弥	24	月舘
28	コーチ	阿久津正雄	44	霊山	6	内野手	佐藤 正裕	23	梁川
29	コーチ	佐藤 壮一	42	梁川	8	内野手	佐藤 陽介	22	梁川
10	主将	八巻 彰	30	梁川	4	内野手	渡辺 淳生	22	保原
14	投手	野田 誠	44	保原	25	内野手	大河内靖之	26	伊達
18	投手	山際 隆	28	梁川	23	内野手	西尾 文善	28	伊達
1	投手	幕田 寛巳	28	梁川	13	内野手	岡崎 良和	27	伊達
22	投手	芳賀 和也	23	保原	7	外野手	森久保 勇	31	霊山
17	投手	佐藤 佑哉	22	保原	5	外野手	籾野 哲也	30	保原
16	投手	八巻 大地	21	梁川	11	外野手	斎藤 真樹	29	梁川
19	投手	芳賀 裕也	21	保原	24	外野手	三浦 雅史	26	月舘
2	捕手	斎藤 厚德	24	月舘	21	外野手	寺島 広樹	25	保原
15	捕手	佐藤 一樹	22	梁川	20	外野手	小野 裕紀	21	保原
3	捕手	佐藤 資郎	25	梁川	マネージャー		金子 大樹	37	伊達
9	内野手	佐久間和敏	28	梁川	スコアラー		佐藤 淳	44	保原

### 編集後記

思い起こせば、昨年の10月18日、初の伊達市選抜チームとして初戦を飾りました。今年の10月18日は昨年果たせなかったベスト4進出。1年間で、チームは見違えるくらい成長しました。

代表選手は25人。それぞれが職業や家庭を持ち、毎週土日に試合に参加することは大変なことです。全員が試合に出場することはありませんが、25人全員で戦い勝利を収めてきました。試合では、出場することだけが選手の仕事ではありません。約1時間半の試合の中でメンバー全員が自分の役目を果たしているからこそ勝ちあがることができました。

このメンバーで、1日でも長く戦いたいという思いが通じ最終日までたどりつくことができました。応援してくれる皆様、伊達市チームのメンバーに最後の力を与えてください。

「伊達市チーム応援便り」は、福島民報保原販売店の「高橋新聞店」の協賛で発行しています。